



お客様の定義

- 消費者の皆様
- 株主の皆様
- 販売先の皆様
- 仕入先の皆様
- 金融機関の皆様
- 地域社会の皆様

グループ経営理念

「お客様第一主義」

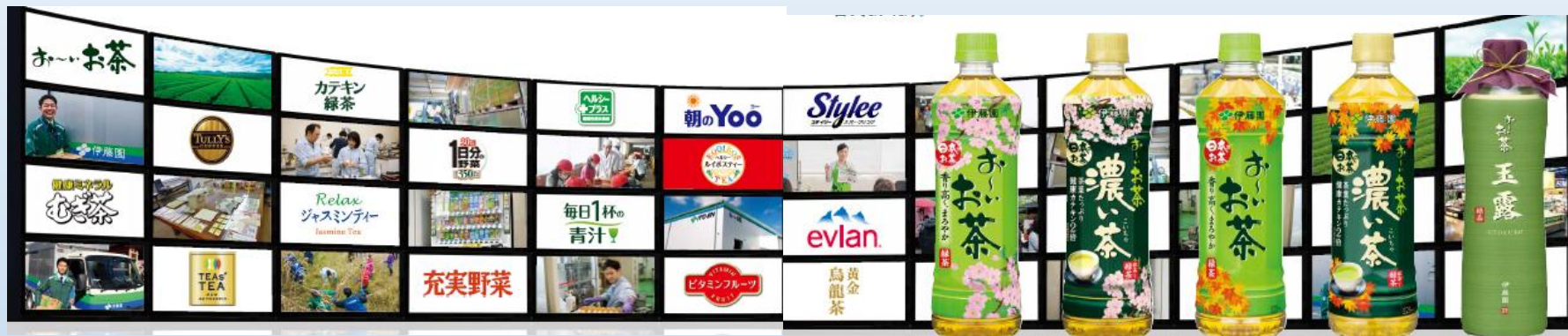
トピックス ビジネス誌『フォーチュン』（2016年9月発行）「世界を変える50社」に選出

伊藤園は、事業を通じた社会課題の解決が評価され、ビジネス誌『フォーチュン』（2016年9月号）での「世界を変える（Change the World）」50企業リストという特集で、18位に選ばれました（日本企業では最高位）。伊藤園は「日本の混迷する農業に新たな成長の機会を」という内容で、茶産地育成事業での耕作放棄地の活用や茶殻リサイクルによる段ボールの利用などが評価されました*。*詳しくはビジネス誌『フォーチュン』のサイトを参照 ▶ <http://beta.fortune.com/change-the-world/>

世界を変える
50企業リスト
18位

「茶畑から茶殻まで」
SDGsへの対応でブランド強化

伊藤園ではバリューチェーンを通じて、関係者との連携で共有価値を創造。また、バリューチェーンでの重要事項についてSDGsの目標との関連を整理して、世界的視野でビジネスモデルを構築、ブランド強化している。



バリューチェーンを通じて生み出す価値



「世界のティーカンパニー」へ



統合報告・サステナビリティレポートはこちら
<http://www.itoen.co.jp/csr/report/>

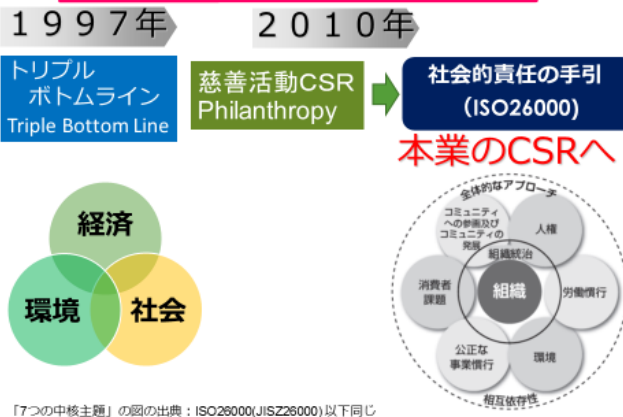
Sustainability Report 2016 報告欄に関するお問い合わせ先

株式会社 伊藤園 CSR推進部
〒151-8550 東京都渋谷区本町3丁目47番10号
TEL 03-5371-7213 FAX 03-5371-7196
e-mail csr@itoen.co.jp
<http://www.itoen.co.jp>

※SDGsの数字は主に関連する項目を示したものです。

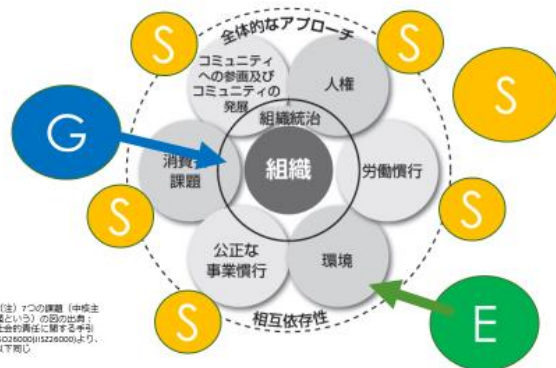
CSR/CSV/ESG/SDGS

企業の社会的責任(CSR) Corporate Social Responsibility

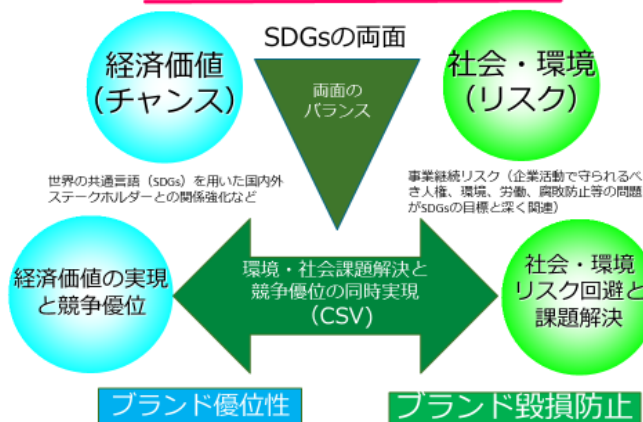


ESGとISO26000によるCSR

国際標準の体系より



CSV・ブランドとSDGs



©2017/nsasaya

ISO26000とSDGS



- SDGsの17目標もISO26000の7つの中核主題も、いずれも複合課題への対応のため相互に関連し不可分で全体的アプローチが必要である。ただ、理解しやすいようにISO26000の7つの中核主題のうち「主として」関連する主題にSDGsの17目標を当てはめて両者の関連を「試行的に」整理するとおおむね図のような関係になる。
- このように整理すると、発行後5年が経過しISO26000で体系を整えている企業が多いので、ISO26000の7つの中核主題の体系を活用しつつ、SDGsを目標年次付きの最新課題として補強する。これで両者は併用が可能であり、補完しあって使うことができる。
- SDGsを持続可能性の世界の共通言語として活用することはブランディングにも必須の事項になる。

(株式会社伊藤園 常務執行役員CSR推進部長)
笹谷 秀光

※CSV (Creating Shared Value)：共有価値の創造
 ※ESG：環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance) の頭文字を取ったもの、企業がこの3要素に配慮した経営を評価する主として投資家からの視点。

(注) 7つの中核主題の図の出典：社会的責任に関する手引 ISO26000 (JISZ26000) (注) SDGsのロゴは国連広報センター
 詳しくは次の記事も参照
 「サステナビリティの共通言語SDGsとCSRの関係」
 オルタナコラム <http://www.alterna.co.jp/19678>

京都議定書誕生20周年記念講演会・SDGsシンポジウム
 主催者：京のアジェンダ21
 2017年12月3日(日) 10:30 - 17:00

SDGsシンポジウム
 「各ステークホルダーによるSDGs最前線とディスカッション」

<13:15~13:45>
 笹谷秀光講演
 「企業戦略としての持続可能性」
 笹谷発表要旨



笹谷 秀光
 伊藤園 常務執行役員
 CSR推進部長

SDGsに企業はどう対応すべきか。企業現場から見ていると、GC(グローバル・コンパクト)、ISO26000、CSV、ESG、SDGs等次々と新概念が発出され、どう体系化していくのが課題です。すでに浸透・定着しているISO26000をベースに経営に組み込んでいくことが合理的です。学会などでの理論面と伊藤園での実践面の両方の経験を生かして提言いたします。

プロフィール

笹谷 秀光(ささや ひでみつ)
 株式会社伊藤園常務執行役員CSR推進部長
 東京大学法学部卒業、1977年農林省入省、環境省大臣官房審議官、農林水産省大臣官房審議官、関東森林管理局長を経て、2008年退官。同年伊藤園入社、2014年7月より現職。
 主な著書「CSR新時代の競争戦略」(日本評論社2013)「協創力が稼ぐ時代」(ウイズワークス社・2015)。講演・パネリスト・モデレーターなど多数登壇。
 Mail h-sasaya@itoen.co.jp

